

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組 選択者

教科担当者：（ 森田香菜子 ）

使用教科書：（ MOUSA 1 教育芸術社 ）

教科 芸術 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり、および音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			歌	器	創						
1 学 期	A 単元 曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方など歌う 【思考力、判断力、表現力等】 イメージをもって表現を工夫して歌う	・指導事項 伸び伸びとした発声で、発音に留意し、表情豊かに歌う。 ・教材 校歌（斉唱）、0 sole mio、むこうむこう ・関連楽曲鑑賞	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身につけ、歌唱で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じしながら、どのように歌うかについて表現意図を持っている。	○	○	○	7
	B 単元 ボディーパーカッションに挑戦しよう 【知識及び技能】 曲想と音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 どのように演奏するかについて、	・指導事項 リズムを正確に読み取り、表現意欲をもってリズムアンサンブルを行う。 ・教材 Plymouth Rock ・関連楽曲鑑賞		○	○	○	・楽譜をみながら、手拍子や足踏みの奏法について理解している。 ・音色・リズム・強弱・構成等を等を知覚し、それらの働きを感じしながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 ・他者との調和を意識して演奏することに関	○	○	○	7
	C 単元 表現を工夫してギターを演奏しよう（メロディー奏） 【知識及び技能】 曲想とギターの音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 イメージをもって表現を工夫して	・指導事項 ギター奏法基礎、音階 ・教材 第3の男のテーマ ・関連楽曲鑑賞	○	○		○	・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。曲にふさわしい奏法、身体を使い方などの技能を身につけ、器楽で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じしながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。	○	○	○	9
	D 単元 オペラ親しみ、アリアに挑戦しよう 【知識及び技能】 物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解するとともに、舞台芸術としてのオペラの特徴を知る。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 オペラの概要、物語のあらすじ、アリア ・教材 カルメン ・関連楽曲鑑賞	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じしながら、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働	○	○	○	6
2 学 期	E 単元 表現を工夫して合唱やヴォイスアンサンブルをしよう 【知識及び技能】 合唱やヴォイスアンサンブルによる表現の特徴を理解し、それを生かして歌ったり、他者との調和を意識して歌う技能を身に着ける 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ハーモニーの作り方、発声、発音 ・教材 校歌（無伴奏混声4部）、初心のうた（伴奏つき混声四部合唱）、おんがく（無伴奏混声4部） ・関連楽曲鑑賞	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じしながら、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱やヴォイ	○	○	○	22
	F 単元 音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう 【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素やその働きに注目しながら曲を聴き、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解する	・指導事項 オーケストラの楽器・編成、楽曲の構成、作曲家 ・教材 「音楽を織りなすさまざまな要素」「オーケストラを知ろう」ラヴェル ポレロ				○	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	○	○	○	4
3 学 期	G さまざまな器楽アンサンブルを楽しむ 【知識及び技能】 器楽アンサンブルによる表現の特徴を理解し、それを生かして演奏したり、他者との調和を意識して演奏したりする技能を身に着ける 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ギター奏法基礎 コード ハンドベル奏法 ・教材 星に願いを 等 ・関連楽曲鑑賞		○		○	・一人一人が主体性を発揮しながら、他者との調和を意識して演奏する技能を身につけている ・各パートの役割を理解するとともに、全体の響きやハーモニーをイメージしながら演奏している ・共通のイメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら	○	○	○	10
	H 単元 表現を工夫して合唱やヴォイスアンサンブルをしよう（発展） 【知識及び技能】 合唱やヴォイスアンサンブルによる表現の特徴を理解し、それを生かして歌ったり、他者との調和を意識して歌う技能を身に着ける。 発表の場で披露する。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ハーモニーの作り方、発声、発音 ・教材 校歌（無伴奏混声4部）、初心のうた（伴奏つき混声四部合唱）、おんがく（無伴奏混声4部） ・関連楽曲鑑賞	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じしながら、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱やヴォイスアンサンブルによる表現の特徴、各パートの役割に関心をもち、主体的・協同	○	○	○	5 合計 70

昭和 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：前田 宏美

使用教科書：（ 高校生の美術Ⅰ<日本文教出版> ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働き等について考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映						
2 学 期	A 単元 教科書作品鑑賞・発表 【思考力、判断力、表現力等】 ・興味を持った作品について詳しく分析し、レポートにまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が選んだ作品を模写することを通して、作品を理解しようとする。 ・上記の作品について考えを整理して発表する。	・指導事項 美術の様々な分野について解説し、様々な分野、時代の芸術に関心を持たせる。 ・教材 教科書 「高校生の美術Ⅰ」	○	○	○	○	・興味を持った作品について自分なりの解釈を交えながら詳しく分析し、伝わりやすい表現でレポートにまとめられているか。 ・作品の理解を深めようと意欲的に模写に取り組んでいるか。 ・各自が選んだ作品について、その理由について他者に伝わるように発表することができたか。		○	○	2
	B 単元 鉛筆デッサン基礎 【知識及び技能】 ・素描材料としての鉛筆の削り方や使用方法、基本形体の形の捉え方、立体感の表し方を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・形の捉え方や立体感の表現方法を、実践しながら学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事後レポートにこの単元の学びについてまとめる。	・指導事項 カッターの持ち方と使用方法を実演しながら解説する。また鉛筆の色の出し方を経験させる。 デッサンの基礎として、基本形体を描くことを通して、形の捉え方や立体感の出し方について指導する。 ・教材 教科書、基本形体デッサン見本シート、立体模型等	○	○		○	・デッサンに使用する鉛筆や削り方について理解し、鉛筆の色の出し方、タッチの入れ方をワークシートで丁寧に実践できているか。 ・それぞれの基本形体を、指導を受けた内容を踏まえて立体的にデッサンできているか。 ・基本形体の形の捉え方、立体感を表すための方法についてよく考えて活動に取り組んでいるか。 ・活動の振り返りを意欲的に行い、今後の活動に活かそうとしているか。	○	○	○	6
	C 単元 対照的なイメージによる色彩構成 【知識及び技能】 ・色相、明度、彩度といった色彩の基礎知識について学び、作品の制作を通して色彩の違いによるイメージの違いについて実感する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフを効果的に単純化し、対照的なイメージになるよう色彩を工夫して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事後レポートにこの単元の学びについてまとめる。	・指導事項 色彩の基礎知識、形の単純化の方法、アイディアスケッチの方法、トレースの方法、色作り、ベタ塗り（一面を均一に塗る）の方法等 ・教材 教科書、色彩掛図、配色カード、参考作品等 ・一人1台端末の活用 アイディアスケッチの資料探し			○	○	・色相、明度、彩度という色彩の三属性（三要素）やその扱い方によってイメージが変わることを理解できたか。 ・二つの作品は全く同じ形でありながら、色彩の違いにより対照的なイメージとすることができたか。 ・ベタ塗り（一面を均一に塗る）で丁寧に着色し、はみ出たり汚れたりした箇所は白色で修正できているか。 ・魅力的な主題の生成のために、アイデアを複数出して図案を検討し、同じ図案が対照的なイメージになるように色彩の構想を練っているか。 ・制作時間なりの完成度の作品となっているか。 ・主体的に表現活動に取り組もうとしているか。	○	○	○	18
2 学 期	D 単元 油彩による静物画制作 【知識及び技能】 ・油絵具の使用方法について学び、適切に扱うことで絵の具の特徴を活かした制作を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・静物画の良い構図について学んだ上でモチーフを組み、自分の個性が発揮されるような静物画を制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事後レポートにこの単元の学びについてまとめる。	・指導事項 油彩道具の使用方法、準備の仕方と片付けの方法、油彩技法の特徴、静物画の構図について、立体感、空間感の出し方について、自然な色の作り方について等 ・教材 教科書、静物画名画の複製画、参考作品等	○			○	・良い構図で画面に収めることができたか。 ・油絵道具の使い方を理解し、適切に扱うことができたか。 ・適切に陰影を表現し、写実的、立体的に描くことができたか。 ・混色によって自然な色あいの作品とすることができたか。 ・制作時間なりの完成度の作品となっているか。	○	○	○	16
	E 単元 そっくりに造る（立体造形） 【知識及び技能】 ・石塑の特徴を理解し、立体造形の作り方について学ぶ。様々な角度から対象物を鑑賞し、写実的に表現する。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 立体造形の制作方法、石塑の扱い方、紙やすり、棒やすり等の使用方法、自然な色の作り方等 ・教材 教科書、自分で用意したモチーフ、粘土造形用具、参考作品等	○			○	・石粉粘土の特性を活かし、用具を適切に扱いながら、できる限り細部までモチーフに近づくように造形できたか。 ・モチーフをよく観察し、構造を考えながら造形することができたか。 ・モチーフをよく観察し、そっくりな色になるように試行錯誤して色を作り、着色することができたか。	○	○	○	12

高等学校 令和7年度

教科 芸術

科目 音楽Ⅱ

教科 芸術

科目 音楽Ⅱ

単位数 2 単位

対象学年組 第 3 学年 A 組～ H 組 選択者

教科担当者 森田香菜子

使用教科書 (Tutti+ 教育出版)

教科 芸術

の目標

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を

科目 音楽Ⅱ

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり、および音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			歌	器	創						
1 学期	A 単元 独唱・合唱 曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう 【知識及び技能】 様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。他者との調和を意識して歌う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の特徴や表現上の効果を生かして歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・指導事項 伸び伸びとした発声で、発音に留意し、表情豊かに歌う。2重唱、3重唱のアンサンブルを楽しむ。 ・教材 島唄 (2重唱)、風の子供 (独唱)、ほたるこい (3重唱) ・関連楽曲鑑賞	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌うかについて創意工夫している。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	B 単元 リズムアンサンブルを楽しもう 【知識及び技能】 創意工夫を生かした表現をするために必要な、他者との調和を意識している。 【思考力、判断力、表現力等】 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働しながら、楽曲の特徴を生かした表現ができるよう、試行錯誤したり、意見を交換する。	・指導事項 リズムを正確に読み取り、表現意欲をもってリズムアンサンブルを行う。 ・教材 Clapping Quartet No.4 ・関連楽曲鑑賞 West Side Storyより、America		○	○	○	・楽譜をみながら、手拍子や足踏みの奏法について理解している。 ・音色・リズム・強弱・構成等を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 ・他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	8
	C 単元 ギターアンサンブルを楽しもう 【知識及び技能】 ギターの奏法を身につけ高める。 【思考力、判断力、表現力等】 個性豊かに表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 アンサンブル活動をするに関心をもち、試行錯誤しながら、表現を工夫する	・指導事項 チューニング、運指の確認 曲に合わせた響きを作り出すため、右手のはじき方を工夫する。 アンサンブルでは互いの役割を意識して発表に向かう。 ・教材 きらきら星、シューベルトの子守歌 ・関連楽曲鑑賞	○	○		○	・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身につけ、器楽で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 ・曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心を持ち、主体的・協働的にアンサンブルの学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
2 学期	D 名曲プレゼンテーション 【知識及び技能】 作曲家や楽曲の背景、特徴などを調べ、レポートにまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 紹介文を作成し、作曲家や楽曲の背景、特徴などをプレゼンテーションできる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の選んだ楽曲について面白い、それを伝えることに、主体的・協働的に取り組む。	・指導事項 レポートの作成、視聴覚機器の使い方 ・個々の発表曲鑑賞				○	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 ・曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを深く味わっている。 ・紹介文を作成してプレゼンテーションすることや、他者の発表する音楽を味わうことに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	E 物語と音楽の関わり 【知識及び技能】 オペラ・ミュージカルなどの総合芸術において物語と音楽の関わりについて知識を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽と物語が関わり合いながら	・指導事項 アリア、二重唱の歌唱指導 作品の登場人物、物語、背景について ・教材 トゥーランドット ウェストサイドストーリー	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的歴史的背景との関わり、言葉の特性や他の芸術との関わりについて理解している。 ・曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 ・総合芸術において物語と音楽の関わり合い	○	○	○	...

	のような表現上の効果をもたらしているの 【学びに向かう力、人間性等】 音楽と他の文化が互いにどのように影響し合って発展してきたかに興味をもち、主体的・協働的に取り組む。					どのような表現上の効果をもたらしているのかに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				14
F	混声合唱を楽しみ響かせよう 【知識及び技能】 様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。他者との調和を意識して歌う技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の特徴や表現上の効果を生かして歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	指導事項 伸び伸びとした発声で、発音に留意し、表情豊かに歌う。アンサンブルを楽しむ。 教材 MOON RIVER 関連楽曲鑑賞				曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の見え方などの技能を身に付けて、歌唱で表している。 音色、リズム、速度、旋律、テクニク、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように歌うかについて創意工夫している。 他者との調和を意識して歌うことや、曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。				8
G	グループアンサンブル発表会 【知識及び技能】 音楽Ⅱで学習した内容を踏まえ、選曲し、グループアンサンブルが行える。 【思考力、判断力、表現力等】 個性豊かに表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 アンサンブル活動を行うことに興味をもち、試行錯誤しながら、表現を工夫する。	指導事項 アンサンブルでは互いの役割を意識し、調和した響きを求め、発表に向かう。 教材 各自の選曲、楽器 関連楽曲鑑賞				音楽Ⅱの一年間の学習における表現や鑑賞の知識、技能を身につけて、歌唱や器楽で表している。 音色・リズム・速度・旋律・強弱・構成等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現や器楽表現を創意工夫している。 一年間のまとめとして発表会を実施することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。				10 合計 70

高等学校 令和7年度 教科 芸術 科目 音楽演習

教科： 芸術 科目： 音楽演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 c 組～ G 組 選択者

教科担当者： 森田香菜子

使用教科書： （ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 音楽演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽を専門的に学び、進路のために必要な楽典を理解し、また新曲視唱や聴音の技能を身につけ、実際の演奏や創作に生かせるようにする。	読譜力を向上させ、読み取ったものから表現豊かに演奏することができる。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、音楽を志す者として必要な知識や技能、表現力、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			歌	器	創						
1 学 期	A 楽典基礎① 【知識及び技能】 演奏・創作のために必要な楽典基礎事項を理解し、表現に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 身につけた知識・技能をもとに、読譜力を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 楽典理論を演奏・創作に繋げることに興味をもち、主体的・協働的に楽典の学習活動に取り組む。	・指導事項 音程、音階、楽語 ・教材 楽典 理論と実習 音楽之友社					・音程、音階について理解し、練習問題に取り組みながら、実際の音に繋げて演奏・創作に生かすことができる ・練習問題取り組み、応用力と読譜力を上げることができる。 ・楽典の理論に基づいて様々な楽曲が作られていることに興味をもち、主体的・協働的に楽典の学習に取り組んでいる。	○	○	○	18
	B ソルフエージュ基礎（新曲視唱・聴音） 【知識及び技能】 新曲視唱・聴音の技能を身につけ、実際の演奏・創作に生かせるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 読み取ったものを表現豊かに視唱し、聴音では和声を意識して記譜することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ソルフエージュ能力を高めることに興味を持ち、主体的・協働的にソルフエージュの学習活動に取り組む。	・指導事項 コーリユーブンゲン、新曲視唱（＃・♭2つまで）、聴音 旋律、和声（3声） ・教材 The Basics of Music 音楽之友社、配布楽譜	○				・新曲視唱・聴音の技能を身につけ、正確な音程、リズムにて歌唱し、記譜できるようになる。 ・和声を意識しながら、表情豊かな視唱と聴音ができる。 ・ソルフエージュ能力を高めることで、読譜力が上がり、表現力も豊かになることに興味をもち、主体的・協働的にソルフエージュの学習に取り組んでいる。	○	○	○	12
2 学 期	C 楽典基礎② 【知識及び技能】 演奏・創作のために必要な楽典基礎事項を理解し、表現に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 身につけた知識・技能をもとに、読譜力を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 楽典理論を演奏・創作に繋げることに興味をもち、主体的・協働的に楽典の学習活動に取り組む。	・指導事項 和音、コードネーム ・教材 楽典 理論と実習 音楽之友社					・和音・コードネームについて理解し、練習問題に取り組みながら、実際の音に繋げて演奏・創作に生かすことができる ・練習問題取り組み、応用力と読譜力を上げることができる。 ・楽典の理論に基づいて様々な楽曲が作られていることに興味をもち、主体的・協働的に楽典の学習に取り組んでいる。				15
	D ソルフエージュ発展（新曲視唱・聴音） 【知識及び技能】 新曲視唱・聴音の技能を身につけ、実際の演奏・創作に自ら生かせるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 読み取ったものをより表現豊かに視唱し、聴音では和声をよく意識して記譜することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ソルフエージュ能力を高めることに興味を持ち、主体的・協働的にソルフエージュの学習活動に取り組む。	・指導事項 コーリユーブンゲン、新曲視唱（＃・♭3つまで）、聴音 旋律、和声（4声） ・教材 The Basics of Music 音楽之友社、配布楽譜	○				・新曲視唱・聴音の技能をより身につけ、正確な音程、リズムにて歌唱し、記譜できるようになる。 ・和声を意識しながら、表情豊かな視唱と正確な聴音ができる。 ・ソルフエージュ能力を高めることで、読譜力が上がり、表現力も豊かになることに興味をもち、主体的・協働的にソルフエージュの学習に取り組んでいる。				15
	E 楽典・ソルフエージュ演習 【知識及び技能】 演習問題に取り組み、技能をより高める。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 楽典解説、新曲視唱、聴音 ・教材 配布楽譜、配布問題プリント					・楽典演習問題を正確に解くことができる。 ・和声を意識しながら、より表情豊かな視唱と正確な聴音ができる。 ・総合的な音楽能力を高めることに興味をもち、主体的・協働的に楽典・ソルフエージュ				

3 学 期	演奏問題によって、読譜力を向上させ、表現豊かな演奏・創作に繋げる。 【学びに向かう力、人間性等】 総合的な音楽能力を高めるべく、主体的・協働的に楽典・ソルフェージュ学習に取り組んでいる。	○				の学習に取り組んでいる。				10
	合計 70									

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 彫	デ	映						
1 学 期	単元「人工物をモチーフにした平面構成」 【知識及び技能】 ・色彩や彩色の知識をもとに平面を構成し、デザインの基礎を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・選んだモチーフの形態や材質の特徴を的確に表しつつも、各々が設定したテーマに基づいた平面構成となるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術、デザインの様々な分野について関心を持ち、生活と関連させて考える。	・指導事項 オリエンテーション 人工物をモチーフとした平面構成 ・教材 画用紙、絵具　マスキングテープ など ・一人1台端末の活用　等	○	○	○	・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	○	○	○	16	
	単元「ドライポイント制作」 【知識及び技能】 ・線描について学び、各々のテーマに基づいて効果的な表現ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ドライポイント（凹版）の技法について学び、偶然の効果が楽しめる版画制作を体験する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術、デザインの様々な分野について関心を持ち、生活と関連させて考える。	・指導事項 ドライポイント制作 ・教材 塩ビ版、ニードル、和紙　など ・一人1台端末の活用　等	○		○	・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	○	○	○	14	
2 学 期	単元「ハンスカルブチュア制作」 【知識及び技能】 ・抽象表現が生まれた経緯を知り、抽象によって制作を行った作家たちの作品を鑑賞する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・抽象表現によるハンスカルブチュアを制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術、デザインの様々な分野について関心を持ち、生活と関連させて考える。	・指導事項 ハンスカルブチュア ・教材 万力やのこぎり、サーフォームなど ・一人1台端末の活用　等			○　○	・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	○	○	○	16	
	単元「油彩による自由制」 【知識及び技能】 油彩の特徴を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現したいテーマを作品に反映し、全制作時間に見合った、完成度の高い作品を仕上げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術、デザインの様々な分野について関心を持ち、生活と関連させて考える。	・指導事項 油彩による自由制 ・教材 油絵具、キャンパスなど ・一人1台端末の活用　等	○		○	・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	○	○	○	14	
3 学 期	受験対策課題または自由課題	・実技試験対策として過去問、または過去問に近い内容の題材を描く。美術系志望者ではない生徒は自由課題で制作。	○		○　○	・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	○	○	○	10 合 計 70	

高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 芸術 科目 素描

教科：藝術

科 目：素描

单位数： 2 单位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組 選択者

教科担当者： 岸野仁志

使用教科書：（ 学校設定科目のため使用教科書はなし。 ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】

創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。

【学びに向かう力、人間性等】

美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組む。

科目 素描

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	立体や空間の把握に留意し、造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・彫	映	デ	鑑賞					
1 学 期	単元「静物デッサン」 【知識及び技能】 ・窓からの光を重視し、影の方向を意識しながら立体的に描写する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用意されたモチーフを、美術1の教科書（68、69ページ）を参考に描く。 ・ブロックのパースを正確に捉えること、ピンの垂直線が曲がらないことなど等意識しながら進める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術、デザインの様々な分野について関心を持ち、生活と関連させて考える。	・指導事項 オリエンテーション 静物デッサン ・教材 ピン、ブロック、布、リンゴ ・一人1台端末の活用 等					・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	○	○	○	16
	単元「石膏デッサン」 【知識及び技能】 ・石膏像の形を正確に描写するために、デスクルやばかり棒の使用法を知り、できる限り正確に形を捉えられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・石膏像4種（ラボルト、アグリッパ、青年マルス、メディチ）の中から好きなモチーフを選び、形を正確に取り立体的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術、デザインの様々な分野について関心を持ち、生活と関連させて考える。	・指導事項 木炭による石膏デッサン ・教材 石膏像4種（ラボルト、アグリッパ、青年マルス、メディチ）木炭、木炭紙 ・一人1台端末の活用 等					・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	○	○	○	14
2 学 期	単元「校内デッサン」 【知識及び技能】 ・一点透視法、二点透視法についてワークシートを用いて学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各々好きな場所に赴き、透視法に基づいて形を正確に取り、鉛筆を用いて描写する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術、デザインの様々な分野について関心を持ち、生活と関連させて考える。	・指導事項 校内デッサン ・教材 鉛筆、画用紙 ・一人1台端末の活用 等					・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	○	○	○	16
	単元「自由課題」 【知識及び技能】 ・透視法についてワークシートを用いて学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分自身でモチーフや時間配分を決め、デッサンを2点（自由課題Ⅰ・Ⅱ）制作。 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術、デザインの様々な分野について関心を持ち、生活と関連させて考える。	・指導事項 自由課題 ・教材 鉛筆、画用紙、木炭など ・一人1台端末の活用 等					・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	○	○	○	14
3 学 期	受験対策課題または自由課題	・実技試験対策として過去問、または過去問に近い内容の題材を描く。美術系志望者ではない生徒は自由課題で制作。					・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	○	○	○	10 合 計 70

